



日本共産党 横浜市議員 旭区

# かわじ民夫

河治たみお ●東洋電気製造(株)勤務 ●横浜西部民主商工会顧問 ●横浜市議3期目 ●温暖化対策・環境創造・資源循環常任委員、基地対策特別委員 ●1951年生まれ ●新潟県立燕工業高校卒 ●中希望が丘在住

かわじ民夫



## 安心・移動への支援 ミニバスを走らせよう

旭区は山坂が多く、駅やバス停から離れている交通不便地域の多いところ。65歳以上の高齢者が約7万人、市内で高齢者が一番多く、買い物や通院等、安心できる移動への支援は急務です。交通不便地域が解消されれば、若者や子育て世代を引付けるでしょう。

横浜市の地域交通サポート事業(ミニバス)は、地域と交通事業者が主体となって運営するものですが、行政の支援がなく、運営が不安定です。支援要求を求める地域の声や、私たち議会での発言で、2019年度からようやくミニバスなど車両購入費など、初期投資への支援が予算化され、一歩前進しました。しかしミニバスの安定した運営には至りません。

引き続き、ごいっしょに制度の拡充して、より良いものにするために議会で働かせてください。

## カジノはいらない

### キッパリ誘致NO!を示す市議会へ

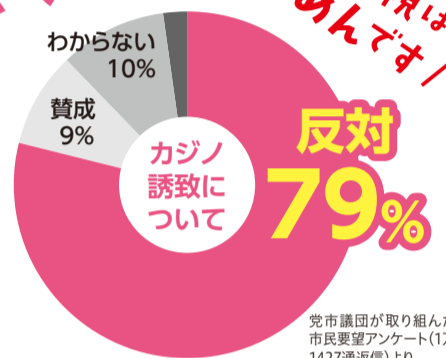
カジノは刑法が禁ずる賭博です。横浜市議会は国会でカジノ実施法を強行した自民、公明が過半数を占めています。林文字市長は、カジノ誘致を「白紙状態」としていますが、カジノ構想案を事業者から募集。誘致にむけての実質的な準備活動です。

あります! **カジノを止める方法**

- ① 林市長に手上げ(誘致)をさせない
- ② 議会が賛成しない

市長が誘致の手を上げても議会が賛成しない限り、カジノはやってきません。市民の声で、自民・公明が主導する議会を変え、カジノNO!!の議会にしましょう。

カジノ推進法強行した  
自民・公明・維新に厳しい審判を!



民意無視は  
ごめんです!

党市議団が取り組んだ  
市民要望アンケート(1万  
1427通返信)より

## 出来たてで、みんなが食べられる、自校調理方式の 中学校給食の実現を

全国20政令市の中で、横浜市だけが中学校給食を行っていません。県内19市のうち、実施方針もないのは横浜市だけです。この現状を自民・公明は容認しています。林市長は、中学校給食を望む市民の声に背を向ける自民、公明に同調し「ハマ弁(注文制の配達型業者弁当)」の推進を図るとしています。

実施しない主な理由として、多額の費用と施設スペース不足をあげています。市教育委員会の試算では、小学校と同様に給食を全校で実施する場合の施設整備費は260億円です。市の一般会計予算 1兆 8千億円の 1.5%にしかすぎません。

ハマ弁は給食では  
ありません

学校給食法に基づかず、市の栄養士が献立をつくらず、食材も業者まかせ。栄養基準も低く、食育の教材にもなりません。

日本共産党は  
全員が食べられる  
給食実施を目指します



- すべての生徒が出来たての温かい栄養バランスのとれた昼食をとることができ、笑顔で会話する時間が共有されます。
- 全員喫食の給食によって食教育がすすみます。
- 調理室は、災害時の食事提供に役立ちます。
- 食材の地産地消、地元雇用にも貢献します。
- 就学援助制度で給食費が無料となり、子どもの貧困解消に寄与します。

2018年第4回定例会  
中学校給食の実施を求める請願

各交渉会派の態度 共産 ○ 自民 × 公明 × 民権フォーラム ×

## 税金の使い方を暮らし応援へ

暮らしやすい  
横浜に



自民・公明が推進する  
市民の暮らし向上につながらない  
大型開発・一部大企業優遇

### 約1000億円

●新市庁舎420億円 ●高速道路332億円 ●国際コンテナふ頭135億円 ●外国人向け高層マンションなど都心部開発97億円 ●豪華ホテル・大企業誘致助成金22億円 ●カジノ誘致検討費1000万円(2019年度予算)

チェンジ

共産党の提案

- 中学校給食
- 特養ホーム増設
- 認可保育園の増設
- 教職員増
- 公共施設の保全・更新
- バス路線、地域公共交通の拡充 など

日本共産党を大きく  
伸ばしてください

4/7  
sun  
横浜市議会  
議員選挙